

かけ橋



九重町立淮園小学校
令和8年 9月1日
文責 校長 河村雅文

淮園小学校 HP の QR コードです。
よかったら HP もご覧ください。

長い夏休みが明け、2学期が始まりました。

8月28日(金)は、2学期始業式でした。41日間の夏休みを終え、学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。朝、学級扱いを行った後、午前9時5分から体育館で2学期始業式を行いました。夏休み明けとはいえ、体育館の中はまだまだ蒸し暑かったです。そんな中でも、会の中では学年代表の子どもたちが夏休みの思い出や2学期頑張ることを発表してくれました。それぞれが充実した楽しい夏休みを過ごしていることがよく分かる発表でした。また、2学期に向けて頑張ることでは、これまでの自分を振り返り、自分が何に力を入れていくかをしっかりと宣言していました。2学期は淮園太鼓の取組や修学旅行、持久走練習と取り組む内容が多いです。それぞれの取組で、しっかりと子どもたちに力をつけていきたいと思います。1学期同様2学期も、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【始業式で校長から子どもたちに話したこと】

2学期は、一番長い学期で、勉強するにも運動するにもじっくり取り組める学期です。淮園太鼓も始まるし、6年生は修学旅行も待ち遠しいですね。そんな2学期を実りある学期にしてみたいので、今日は1人の人物を紹介させて下さい。野球の大谷翔平選手です。大谷選手は、世界で一番野球が上手な選手が集まるアメリカのメジャーリーグでだれも真似できないようなすごい記録を次々と作っています。みんなから「天才だ」「ヒーローだ」と言われていますね。でも、大谷選手は、最初から世界の一流選手だったわけではありません。実は、大谷選手がみんなと同じ小学生や中学生だった頃から、ずっと続けてきた「ある秘密」があります。それは、「目標を立てて、小さな努力をコツコツと続けること」です。

大谷選手が高校生になったとき、1つの大きな夢がありました。それは、「プロ野球の選手になること」です。しかも、「プロ野球の8球団からドラフト1位で指名してもらおう」という夢を持ちました。簡単に言うと、プロ野球の8つのチームから1番にうちのチームに来てほしいと思われる選手になるということです。大きな夢です。簡単にはできません。大谷選手のすごいところは、この夢を現実にするために、自分が頑張るポイントを8つ決めたことです。～中略～ 面白いのが「運」ですね。運なんて自分が頑張ったって変わらないじゃないか、と思いますよね。でも大谷選手は、自分の運を上げるために具体的に8つ頑張ることを決めました。8つのシートに書かれていたのは、①自分から大きな声で挨拶する②ゴミが落ちていたら拾う・・・⑧本を読むです。大谷選手は、野球の練習だけでなく、このゴミ拾いやあいさつも毎日毎日だれが見ていなくてもずーっと続けていました。ゴミを拾うことがどうして自分の運を高めることと関係があるのかなと思いますよね。「ゴミを拾うことは、人が落とした運を拾うことなんだよ」と大谷選手は言っています。世界一になった今でも、大谷選手は試合中にゴミが落ちていたら、そっと拾ってポケットに入れていきます。みんなが憧れる大谷選手の強さは、こうした「誰にでもできる小さなことを、誰にも負けないくらい一生懸命続けること」から生まれているのです。

さあ、今日から2学期が始まりました。みなさんも2学期がんばる目標を決めてみませんか。大きな目標でなくてもかまいません。どんなに小さなことでも。毎日続ければ、それは皆さんの力になります。皆さんの夢を叶える魔法の力になります。

是非、この2学期、「これはがんばるぞ」という自分だけの目標を見つけてコツコツと続けて下さい。校長先生も先生たちみんなも、がんばる皆さんを全力で応援していきます。



木育授業 ～森林の学習をして、本棚を作りました～

8月31日(月)3・4校時は、4・5・6年生が木育授業を行いました。木育授業は、県の森林組合連合会がお世話してくれる事業で、3校時は森林組合の三代さんが大分県の森林について、子どもたちにいろんなことを教えてくれました。人工林であるスギとヒノキの違いを、具体的に木の幹や葉っぱを見せて説明してくれ、分かりやすかったです。また、森林が木材として育ち上

がるまでのかかる時間やそれまでの作業工程も、動画などを準備してくれて子どもたちにも十分伝わる内容でした。4校時は、木材を使って本棚の製作です。今回は、日本文理大学の学生さん4名が子どもの製作補助に参加してくれ、親身に係わってくれ、子どもたちの作品もとても上手に仕上がりました。できあがった作品を見て、参加した4～6年生もとても満足そうでした。最後に全員で記念写真の撮影を行った後、6年生2名からお世話して下さった三代さんや日本文理大の学生さんたちにお礼の言葉を伝えて、木育授業が終わりました。今回、こういう機会を与えて下さり、いい体験ができました。ありがとうございました。



夏休み中の子どもたちの活動紹介

【4・5年生自然体験活動(7月24日 日出町糸ヶ浜海水浴場・ホテルソラージュプール)】

7月24日(金)は、4・5年生の自然体験活動の日でした。昨年は、香々地青少年の家の海辺で、サップなどの自然体験活動を楽しみました。今年の目的地は、日出町の糸ヶ浜海水浴場です。午前中めいっぱい海水浴を楽しみ、午後は隣接しているホテルソラージュの屋外プールで楽しみました。午前中の海水浴では、ちょうど干潮時にあたり、潮がかなり引いているため100m以上波打ち際まで歩きましたが、海に入ってもずっと遠浅なので、子どもたちが安心して浮かんたり生き物探しをしたりして海を満喫しました。海に入るのが今回初めてという人が半数いて、「海の水はしょっぱい」「浮かんでいると波が気持ちいい」とたくさんのつぶやきが聞こえ、自然の楽しさを感じる体験ができたようでした。午後のプールでは、流れるプールで鬼ごっこをしたり、高い所からウォータースライダーで何度も滑り降りたりして、予定された活動時間があっという間に経っていきました。



【平和集会(8月6日 被爆体験交流証言講話)】

8月6日(木)は、平和授業・平和集会を行いました。広島や長崎に世界で初めて原爆が投下されて多くの犠牲を出した夏から、今年で81年目を迎えます。当時被爆された方ももう高齢になり、そう遠くない未来、当時の被害の実態を直接語ってくれる人がいなくなります。今日の平和集会は、長崎市にお住まいの被爆体験交流証言者である藤田幸代さんに来校していただき、お話をお聞きました。藤田さんは、当時長崎市で被爆した大場義弘さんの被爆体験をお話ししてくれましたが、大場さんの被爆体験を聞く子どもたちは、真剣に聞き入っていました。戦争や核兵器の恐ろしさは、決して風化されていいものではありません。今日、藤田さんが伝えてくれたことを心に刻み、何年立っても、今と変わらぬ平和な社会を守っていかなくてはならないと感じました。



【4・5・6年生ホタル学習発表(8月22日宝泉寺星まつり)】

8月22日(土)、19時30分から今年も淮園小学校のホタル学習の発表の機会をいただきました。会場のお客さんたちも集中して子どもたちの話を聞いてくれており、ステージ上の子どもたちも練習以上に落ち着いて発表ができていました。約20分の発表を立派に子どもたちが勤め上げ、最後はたくさんの拍手をもらいました。そして星まつり実行委員の方からは、子どもたちに参加賞の食券をいただき、子どもたちも大喜び。今回、子どもたちにこのような学習発表の機会をいただけて、ありがたかったです。

